

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

西合志第一小学校
学校だより 第71号
文責 校長 西村羊治

HPQRコード 令和7年2月17日

菊池恵楓園での学習

2月13日(木)午前、5年生と6年生が菊池恵楓園の資料館や施設の見学をしました。私も今まで4回ぐらい見学をさせてもらっています。合志楓の森小中学校の隣にあるので、渋滞していなければ本校から車で10分ほどで着く場所にあります。

学校においては、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすために毎年人権学習を行っています。校長をはじめ職員が人権に関するレポートを毎年書きます。ハンセン病問題について多くの学校で学習をしています。上記で述べたように菊池恵楓園は、西合志第一小学校から遠くはありません。現地に行って見学し肌で感じることはとても大切なことだと思います。

2月15日(土)午前、ヴィーブルでハンセン病問題に関する講演会がありました。リデル、ライト両女史記念館の秋山大路館長様の講演でした。リデル、ノット、ライトの菊池恵楓園での献身的な熱意と愛情ある行動を知ることができました。とても有意義な研修会でした。ライトは身の危険があるにもかかわらず、戦後すぐにオーストラリアから菊池恵楓園にもどり、80歳まで献身的に患者と関わり生涯を閉じます。入居している患者を「我が子のように愛し続けたその熱意と愛情」はどこからくるのだろうと感心しました。見習うべき所が多々あります。今回の研修に参加できたこと、5・6年生が現地での学習ができたこと、とても良かったです。5・6年生の現地学習は、毎年続けていきたいと思います。

資料館の見学する5・6年生



「わく友」最終回

轟幸雄様、坂井修館長様も参加

2月13日(木)午後、1年間活動してきた合生文化会館が主催すると「わくわく友だち会」の今年度最後の活動がありました。1年生から4年生まで26人の児童が、学習したことはもちろん、今までの活動で楽しかったことやおもしろかったこと、嬉しかったことや悔しかったこと等を一人一人全員が、みんなの前で発表しました。縦の異学年交流を通して活動できる有意義な時間です。みんなでサッカーをしたこと、お菓子作りをしたこと、ドッジボールをしたこと、プラ板を作ったこと、太極拳や音楽会鑑賞などいろいろなことを経験し、たくさんの学びをしてきました。子ども達一人一人の発表を聞いていて、嬉しかったことの一つに「来年度も参加したい！」という言葉がたくさん聞かれました。その言葉には、子ども達の活動に対する達成感がたくさん表れていました。



仲間づくり、上学年と下学年との交流、西合志第一小学校ならではのすばらしい取組です。会長の轟幸雄様、合生文化会館の坂井館長様や出永様、野中様、「放課後キッズ」の指導者の方々、「わく友」で子ども達に関わってくださったすべての方々、本当にありがとうございました。お陰様で子ども達は、豊かな心を育んできています。今後もどうぞよろしくお願ひいたします。



発表してくれた一つのグループ